

令和元年(2019年)8月1日発行

学園創立112周年記念 第11回「学園協議会」開催

学園強靱化プロジェクト 5年間の成果を総括

令和元年7月14日11時45分より、学園関係者総勢110名が出席し、昨年12月に竣工した日本工業大学多目的講義棟にて「第11回学園協議会」が開催された。



会場は多目的講義棟のレクチャーホール



講演後、7階で懇親会が催された 講演を行う柳澤理事長

協議会は藤田学園事務局長の「開会の辞」に始まり、柳澤理事長、成田健一学長の挨拶と続いた。成田学長は、私学法の改正等の中で、特に運営基盤の強化、つまり学生確保が求められているが、本学の志願者総数は、前年度の約1.3倍に増加した。また、募集定員比率では今年度初めて5倍を超え、全国の進学校、中堅進学校からの志願者数も順調に増えている。これは数年前から力を入れてきた多様な入試改革・広報活動が徐々に効果を上げてきた結果であるとして、今年度の入試を総括した。

続いて、柳澤理事長により「学園強靱化5ヶ年プロジェクト」総括に向けてのテーマで講演が行われ、平成27年の協議会で宣言した「学園強靱化プロジェクト」の背景と概要の説明とともに、テーマ毎にその進捗状況について報告があった。

「『教学運営の強靱化』としての大学改革は、最終的な目的としていたブランド力向上と大学イメージ刷新のため複数学部化を実現すること、で理工系総合大学になるという目標は達せられた。また、中学・高校の教学改革については、長期的生き残り戦略として普通科専・中堅進学校を目指すことを目的として進めてきたが、今年度の入学定員超過により、理事会承認事項である高校の学則変更の認可申請時期が延期することになった。しかしながら今後、中学・高校の教学改革を強力に推進していくことが、強靱化に繋がること決意を述べた。引き続き「管理運営の強靱化」についても労務管理、財務管理、システム管理についての進捗状況の説明がなされた。また、強靱化プロジェクト全体の評価について、「大学は、3学部体制を構築した。高校は、普通校化する方向性は定まった。中学は、生徒数確保よりレベル向上を目指す。労務管理は、さらに取り組むべきものは貫徹し、財務管理は実務的な改善を今後も継続的に進めていく。システム管理は、社会的責務として今後も取り組んでいく」と総括した。

最後に、「強靱化プロジェクト」では、学園の遅れた部分を取り戻すためのものであったが、これに続くものとして、新たに学園がさらに一歩前に進むため、また社会からの要請に対応するために「強靱化プロジェクト」を考えていかなければならない」と締め括った。

2018年度の省エネ実績は、学生や教職員の協力を得た省エネ活動に加え、設備改善として行った留学生別科棟(W1棟)と建築学科実験研究棟(W5棟)および建築技術センター(W7棟)のLED化により、W1棟29.8%、W5棟48.8%、W7棟27.9%の電力削減効果を得た。しかし、キャンパス全体のエネルギー(電力・ガス)起源CO2排出量は前年度比2.23%の増加となった。エネルギー別使用量は、都市ガスが1.06%と微減した一方で、電力は4.94%の増加となった。また、「埼玉県地球温暖化対策推進条例」のCO2排出目標値(基準年12005年)2007年3年間の平均値)の15%削減に対し、14.7%の削減に留まった。

この要因は近年続いている夏の平均気温が高かったことや、50周年記念建設事業で新築された新クラブ棟・ダイニングホール、キッチン&カフェテレビ(増築)の本稼働および昨年12月に竣工した多目的講義棟(5号館)の運用開始による使用量の増加である。このため本学では昨年に続きNITEMSエネルギー削減目標値(基準値比20%削減)の達成を目指し、「エネルギー使用管理委員会」を中心に、左記の省エネ活動を行う。

- ①省エネポスターの掲示
- ②空調の中間期完全停止
- ③外気温による空調運転制御
- ④クールビズの励行
- ⑤棟別に一定時間の空調遠隔停止などを実施。併せて、新築された建物の空調機運用改善や設備の省エネ対策として、LCセンター・エネルギーラインの照明をLED化し、キャンパス内電力使用量の約1.4%削減を行い、サステイナブルキャンパスの充実を図る計画である。



省エネポスター

日本工業大学卒業教職員の集い 現役教員40名が参加 特色ある教育の取り組みを発表

本年は6月22日13時30分より、都立練馬工業高等学校の守屋文俊統括校長を実行委員長として、本学多目的講義棟5階講義室、7階多目的スペースにおいて開催された。

全国の中学校・高校に在職している教職員が40名、来賓・大学教職員・教職履修学生あわせて約50名、合計90名を超える参加があった。当日のプログラムは左記の通り。

■開会行事
守屋実行委員長、成田学長から挨拶があった。

■研究協議会
はじめに、中学校から「全国中学生創造ものづくり教育フェアの取り組み」と題して、東京都江戸川区立松江第五中学校の濱川和彦副校長から発表があった。次に、高等学校から「ネットワーキング教材『CHaser Online』を使った全国高校生プログラミングコンテストへの取り組み」と題して、埼玉県立三郷工業技術高等学校情報技術科の稲田正之教諭から発表があった。

■グループ協議
参加した現職教員と本学の教職課程履修学生が学校から「ネットワーキング教材『CHaser Online』を使った全国高校生プログラミングコンテストへの取り組み」と題して、埼玉県立三郷工業技術高等学校情報技術科の稲田正之教諭から発表があった。



グループ協議

7グループに分かれて協議を行った。主な内容は、教員側からは教員になって苦労したこと・失敗談などを後輩へ熱心に語っていた。学生側からは、教員になる不安や学校の現場の様子など現職教員に多様な質問を投げかけ、活発な協議が行われた。

終了後、会場を多目的スペースに移し「工友会・教職員の集い」が行われた。同懇親会」が行われた。7階の多目的スペースからは眺望を楽しみながら、参加者の情報交換が活発に行われた。

50周年記念建設事業 多目的講義棟特集③

学修支援施設を移設・リニューアル

本館に点在していた学修支援関連施設が多目的講義棟(5号館)1・2階のアクティブ・ラーニングゾーンに集約された。本学基礎教育の要となり、日常的な学修支援や各種情報提供を担う3つのセンターを紹介する。

学修支援センター

個人またはグループの学生を対象として、クォータ科目(数学・英語・物理)などの個別指導をはじめ、専任チューターが学業全般のサポートを行う。大学生活や人間関係についての悩みといった、学生一人ひとりの相談にも専任コーディネーターが丁寧に対応する。



英語教育センター

本学英語教育の中心であり、常駐する外国人講師との実践英会話、個別指導、TOEICテスト対策などに随時対応する。英語コミュニケーション能力の向上、異文化・多文化環境に立ち向かえる意識と能力を育む多様なプログラムを用意している。



教職教育センター

教職課程履修学生と、教員を志す学生を支援。教員採用試験の情報提供や非常勤講師、常勤講師などの求人紹介等の支援も行う。センター内に設置された模擬授業室では担当教員が実践的な授業の指導を行うほか、教職や採用試験に関するセミナーを随時開講している。



工業技術博物館後援会総会・特別講演会

数値制御技術の歴史を解説

6月14日、本学工業技術博物館では、松野建一前館長の後任である清水伸二館長の下、後援会総会・特別講演会が開催された。総会に先立ち、フアナック(株)の顧問岸甫氏による特別講演が、「現在と将来を知るために、知っておきたい数値制御技術の黎明期」と題して行われた。本講演会には、後援会の法人会員と個人会員、招待者を含めて、約100名が参加し、好評であった。また、本学機械工学科の学生にも参加を呼びかけ、100名近い学生が参加した。



講師の岸氏

現代の工作機械は、数値(NC)制御技術のお陰で、タービンプレードのような3次元にねじれた複雑形状の工作物も容易に加工できるようになっている。そのための工作機械の制御技術がどのような発展経緯を辿り、現在の高いレベルに至ったかを中心に、数値制御の基礎とその発展の歴史から、IoT/AI時代を踏まえての今後の技術動向までが解説された。内容は、まさしく、数値制御技術の歴史を振り返るものであり、本学博物館の特別講演としてふさわしく、また、学生にとっても学ぶことの多い素晴らしい機会となった。

2020年度入試説明会

全国88校の教諭が参加

5月24日、昨年に続き、高等学校教諭を対象とした入試説明会が5号館2階5-203教室にて開催された。当日は、近隣の高等学校のみならず、北は北海道から南は鹿児島県まで、昨年を上回る合計88校、92名の高等学校教諭にご参加いただいた。

はじめに、成田学長が挨拶と大学の近況報告を行い、次に佐藤副学長が「基礎教育における新カリキュラム実施状況について」と題して、コア科目の内容や状況等を報告。続いて「学生体験報告」として、建築学科生活環境デザインコース2年沼里彩音さんが、創造システム工学科4年互佑斗さんの2名より勉強内容や、その他学



今年度は5号館のレクチャーホールで開催

生活における様々な体験が発表された。休憩をはさみ、入試室江原主任が2020年度入試の概要を説明。続いて丹澤入試室長より2021年度入試改革における本学の方針等が説明された。

その後、12月に竣工した5号館内の見学、さらに学内施設の見学が実施された。

最後は、5号館7階多目的スペースに場所を移し、参加教諭と学科教員との個別相談・情報交換が行われ、盛況なうちに終了することができた。

教育改革シンポジウム 開催報告

第59回「4月18日開催」

将来構想委員会WG 活動報告

2030年頃に予測される、社会や教育を取り巻く劇的な変化を勝ち抜くために設置された将来構想委員会傘下ワーキンググループ(WG)における、若手の教職員による活動報告を主旨に開催された。

池添将来構想委員会WG座長をはじめとする各委員は、活動概要のほか、2030年10年後を視野に入れた環境変化と将来計画の必要性、入学者の動向と解析、学生アンケートの分析、教職員アンケートと中長期ビジョンにつながるフレーズ及び将来に向けた今後の展開方法の一案等についてプレゼンテーションを展開。



パネルディスカッション

その後「Next Vision 2030」に向けて、WG委員をパネリストとしたパネルディスカッションに移り、フロアからは中長期ビジョンにつながるフレーズの展開に向



応用化学科の説明を行う佐野教授

「教育改善2019の趣旨および共通教育と先進工学部カリキュラムの概要」

授業公開相互評価に先立ち、参観しようとする授業が果たすべき目的や役割を全教職員が情報共有することを目指した。神教育研究推進室長

組へ改善したことに言及。続いて「新学科におけるカリキュラム設計方針とその目指すところ」をテーマに、授業参観の対象である機械工学科、電気電子通信工学科、応用化学科、建築学科におけるカリキュラムの概要が

解説され、カリキュラムの基本方針のみならず、目指すべき人材像などにも言及された。

2回にわたる教育改革シンポジウムにおいて得られた知見は、教職協働を通じて情報発信を継続していく。

高大連携 高校生・大学生交流会

現役学生がリアルな学修・学生生活を紹介

6月15日、千葉県工業系高大連携推進委員会、千葉県高等学校教育研究会工業部会の主催による「高大連携 高校生・大学生交流会」が日本大学理工学部(船橋校舎)で開催された。交流会の目的は、「工業高校を卒業した工学系大学生(大学院生)が、在籍する大学への志願理由、大学入学後の勉強や研究内容、高校と大学の違い、卒業後の進路(希望)等について、各大学の特色を踏まえた大学紹介と共に体験発表することで、高校生の進路選択の一助となること」とされている。

発表した学生は、「発表を通して、今までの振り返りができた。入学当初の気持ちを思い出し、今後に繋げたい」との抱負を述べた。

今回、本学からは、創造システム工学科4年堀大河さん、生活環境デザイン学科3年牧野なな子さん、機械工学科2年坂本将理さん、電気電子通信工学科2年三瓶史花さんの4名が出席した。それぞれが大学入学前に抱いた期待や不安、入学後に感じた事、授業への取り組み、大学院進学、就職、課外活動、興味のある研究テーマ等幅広く学生生活について実体験を通じた発表を行った。



説明を担当した学生

オープンキャンパス

6月2日、オープンキャンパスが開催された。当日は、大勢の高校生や保護者の方が参加。学部学科の紹介や授業体験、個別進路相談会、保護者説明会、女子向けプログラムなどが好評だった。

今後の開催日程

8/3土・4日

8/24土 9/8日

■各開催日とも11時開始(ランチ付き) ■無料バスを運行

■事前に申し込まれた方にプレゼントを差し上げます

詳細は本学WEBサイトをご覧ください

2020年度入試概要

・各入試の詳細は、それぞれの「募集要項」でご確認ください。・エントリー、申込、出願等にあたっては、締切日必着とします。

入試名称	併願可否	内容	日程			
特別奨学生入試	併願可 奨学金 検定科目別	奨学生には、1年目の授業料の全額(98万円)または半額(49万円)を免除 ・書類審査および面接による選考 ・特待生制度あり	申込期間	9/ 9(月)～ 9/19(木)		
			面接日と面接会場	9/28(土) 本学		
			内定日	10/ 3(木)		
			出願期間	10/ 4(金)～10/16(水)		
			合格発表日	10/28(月)		
センター利用入試	併願可 奨学金 検定科目別	・2020年実施の大学入試センター試験で、本学が指定する教科・科目の成績および調査書による選考	センター利用入試A センター利用入試B センター利用入試C			
			出願期間	1/ 6(月)～ 1/31(金) インターネット出願は12/20(金)から利用開始	2/ 3(月)～ 2/14(金)	2/22(土)～ 3/11(木)
			センター試験実施日	1/18(土)・19(日) ※本学での個別学力試験等は実施いたしません		
			合格発表日	2/ 8(土)16:00	2/27(木)16:00	3/18(水)10:00
一般入試	併願可 奨学金 検定科目別	・一般入試Aで各学科・コースの成績上位(合格者の5%)に1年目の授業料全額(98万円)または半額(49万円)を免除 ・筆記試験および調査書による選考 ・試験教科・科目は、一般入試Aは数学・理科(物理・化学・生物から1科目を選択)・外国語(英語)の3教科。一般入試Bは2教科を選択。	一般入試A 一般入試B			
			出願期間	1/ 6(月)～ 1/22(水) インターネット出願は12/20(金)から利用開始	2/ 3(月)～ 2/14(金)	
			試験日	1/29(水)本学・東京・郡山・高崎 柏・横浜・名古屋 1/30(木)本学・東京・水戸・宇都宮 千葉・長野・静岡 1/31(金)本学・東京・仙台・新潟 2/ 1(土)本学・東京	2/20(木)本学・東京	
			合格発表日	2/ 8(土)16:00	2/27(木)16:00	
一般推薦入試(公募制)	併願可 奨学金	・書類審査および面接による選考 ・専門高校(工業科)以外の生徒が対象 ・公募制	第1期 第2期			
			出願期間	11/ 1(金)～11/11(月)	11/29(金)～12/ 9(月)	
			面接日と面接会場	11/16(土) 本学	12/14(土) 本学	
			合格発表日	11/28(木)	12/20(金)	
専門高校入試(S工業科)	併願可 奨学金	・書類審査および面接による選考 ・工業科生徒が対象 ・国公立大学等との併願に最適	申込期間	9/ 9(月)～ 9/19(木)		
			面接日と面接会場	9/28(土) 本学		
			内定日	10/ 3(木)		
			出願期間	10/ 4(金)～10/16(水)		
			合格発表日	10/28(月)		
専門高校入試(B工業科)	併願可 奨学金	・書類審査および面接による選考 ・工業科生徒が対象 ・公募制	第1期 第2期			
			出願期間	11/ 1(金)～11/11(月)	11/29(金)～12/9(月)	
			面接日と面接会場	11/16(土) 本学	12/14(土) 本学	
			合格発表日	11/28(木)	12/20(金)	
AO入試	併願可 奨学金	AOエントリー入試 ・適性評価(面談、提出課題)および書類審査(エントリーシート、調査書)による選考	第1期 第2期 第3期			
			エントリー期間	9/ 2(月)～ 9/ 8(日)	10/31(木)～11/11(月)	1/24(金)～ 2/20(木)
			面談日 (面談日時が指定します)	第1回:9/12(木)～ 9/13(金) 第2回:9/26(木)～ 9/27(金)	第1回:11/16(土) 第2回:11/30(土)	エントリー受付後に連絡
			内定日	10/ 3(木)	12/ 3(火)	3/ 5(木)まで
			AOコーディネータ入試 ・書類審査および面接による選考	コーディネータ入試の申込期間		
			出願期間	10/ 4(金)～10/16(水)	12/ 4(木)～12/10(火)	2/22(土)～ 3/11(木)
			選考	書類審査等		
			合格発表日	10/28(月)	12/20(金)	3/18(水)10:00
3月入試	併願可	・書類審査、面接および小論文による選考	出願期間	3/ 2(月)～ 3/11(水)		
			面接日と面接会場	3/13(金) 本学		
			合格発表日	3/18(水)10:00		
						合格発表日

・専門高校入試(A工業科)および一般推薦入試(指定校)については、2020受験ガイドおよび募集要項をご確認ください。
・お問い合わせ先: 入試室 TEL 0120-250-267

日本語を学ぶインドの中高生 日本の科学技術を体験

6月23日から1週間にわたり、インドのシリ・サンカラ・ビディヤラヤ学校のアシヨク理事長と生徒10名(中高生相当)が来学した。科学技術振興機構主催の「さくらサイエンスプラン」の一環で、日本での科学技術体験を目的とする。

一行は24日に柳澤理事長と成田学長を敬愛訪問し、宮代キャンパスの施設を見学。歓迎会では、生徒たちによるヨガ演技や民族舞踊が披露された。

翌日から生徒たちは授業体験や研究室見学を行い、先進の科学・工



筑波宇宙センターを訪れた一行

の科学・工学技術に触れた。学外においては宮代町役場訪問、筑波宇宙センター見学、新宿散策などを通じて

利根川強化堤防森林ボランティアの草刈り作業



草刈り作業を行う学生たち

「利根川強化堤防森林づくりボランティア」は2014年3月31日に本学学生環境推進委員会、埼玉県加須市、埼玉県及び国土交通省利根川上流河川事務所と5年期限の協定を結び、活動を進めてきた。満期を向かえた今年、学生環境推進委員会が期間延長を申し出たことで、継続して実施することとなった。

この活動は、埼玉県加須市の利根川堤防斜面0.5ヘクタールに学生たちが植樹した475本のクヌギやナラなどの生長を促すための、除草作業等のボランティアである。昨年は学生、教職員延べ71名が参加した。今年度の活動期間は雑

草の生長が著しい5月5日、9月2日、10月26日、11月で、実施日は7月6日、9月2日、10月26日を予定している。学生諸君の参加申込みは、学生環境推進委員会または環境推進事務局にて受け付けている。

実学を学ぶ、謙虚に学ぶ

大学院技術経営研究科 教授 平川 淳

専門職大学院だより

今年度の4月に2024年度に紙幣のデザインが一新されると発表された。長い間、私たちが慣れ親しんできた一万円札の肖像は皆さんもよくご存知の福沢諭吉です。

福沢諭吉は幕末大分県中津市に生まれ、緒方洪庵の塾で学び、咸臨丸で渡米したのち、渡欧するなど日本で最初の国際人でした。諭吉は「学問のすゝめ」を著して明治期の新国家建設に大きく寄与しました。その中

で、諭吉は「一身独立して国独立す」「実学を学べ」と主張しています。前項で優秀な人材は狼官運動をせず、新国家建設のために起業することを推奨し、次項で、儒学ではなく実学(経済学)を学べと述べています。この福沢諭吉の思想は、新国家の建設に大きく寄与しました。

諭吉の思想は本大学院の教育方針と全く同じです。私は若者起業支援の講義をしています。院

専門職大学院 オープンキャンパス

パネルディスカッション | キャンパスツアー
説明会 | 模擬授業 等を予定

2019 8/24(土) 10/19(土) 12/7(土)
2020 2/1(土)

※各日とも13:00開始予定
※詳細はWEBサイト <http://mot.nit.ac.jp/>

お問い合わせ先
日本工業大学 専門職大学院
TEL.03-3511-7591 Mail: mot@kanda.nit.ac.jp



東照宮に至る参道を進む留学生一行

2日目は日光東照宮、華厳の滝、奥日光など歴史、文化、自然を学ぶ機会が設けられた。

ツアー1日目は日光東照宮を参拝したあと、奥日光方面へと移動。華厳の滝、竜頭の滝を散策した。2日目は戦場ヶ原を散策し、中禅寺湖で遊覧船に乗船し、昼食後に帰校した。2日間とも好天に恵まれ、留学生たちは歴史や文化を十分に満喫できたようである。

6月18日には、アルテリオ(学内食堂)において留学生交流会が開催された。こちらも毎年の恒例行事

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定など、地方創生が国・自治体にとって重要な政策課題となっている。そこでは、地域の人口減少とその背景にある地域からの若年者流出が問題視され、若者の地元定着や大都市圏からのU・I・Jターン促進が求められている。

そこで、このような要望に応えるために、本学

と就職協定を結んでいる岩手、福島、茨城、栃木、群馬、新潟、山梨、長野の8県以外に、青森、秋田、宮城、山形、静岡の計13県の就職支援担当者を招き、1年生から4年生を対象に「U・I・Jターン就職情報提供支援」の集まりを、毎年6月中旬に実施している。内容は、県の魅力を語るとともに、求人情報の提供や自治体での特色ある取り組み(例えば、奨学金返還の助成、インターンシップや就職活動等を行う際の移動にかかる交通費や県外の学生に対する宿泊費の助成等)、さらに、インターンシップに関わる企業情報、マッチングフェアの日程の案内など、特徴的な数多くの取り組みについての情報が提供された。今年度は

保護者のための 就職相談会

対象 学部4年生、大学院2年生の未内定学生の保護者
日時 2019年10月5日(土) 9:00~16:00
場所 日本工業大学 就職支援課

対象の皆様には、9月上旬にご案内をお送りいたします

お問い合わせ先
日本工業大学 就職支援課
TEL:0480-33-7510 FAX:0480-33-7562
E-mail: syusyokuka@nit.ac.jp

生が机上の空論ではなく実践に結びつく実学が学べるように心がけています。本大学院では経験豊富な実務家教授が実学に基づいた実践的教育をしており、多くの卒業生が起業して活躍しています。また、学ぶに当たって最も大切なこと。それは二十世紀最大の天才アイザック・アシモフの「学べば学ぶほど、自分がどれだけの無知であるかを知ることが出来る。自分の無知に気づけば気づくほど、よ

り一層学びたくなる」という言葉です。アイザック・アシモフが学べば学ぶほど自分がいかに無知であるか思い知らされるといっているのです。我々凡人はより一層謙虚に学ばなければなりません。個人でも企業でも自分が一番だと思つた瞬間に進歩

は止まります。周りには学歴、職歴に関係なく素晴らしい人が多くいます。誰からも謙虚に学ばなければなりません。

謙虚に誰からも実学を学ぶことが、自分の夢の実現につながるということを忘れずに学んでほしいと思います。

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定など、地方創生が国・自治体にとって重要な政策課題となっている。そこでは、地域の人口減少とその背景にある地域からの若年者流出が問題視され、若者の地元定着や大都市圏からのU・I・Jターン促進が求められている。

と就職協定を結んでいる岩手、福島、茨城、栃木、群馬、新潟、山梨、長野の8県以外に、青森、秋田、宮城、山形、静岡の計13県の就職支援担当者を招き、1年生から4年生を対象に「U・I・Jターン就職情報提供支援」の集まりを、毎年6月中旬に実施している。内容は、県の魅力を語るとともに、求人情報の提供や自治体での特色ある取り組み(例えば、奨学金返還の助成、インターンシップや就職活動等を行う際の移動にかかる交通費や県外の学生に対する宿泊費の助成等)、さらに、インターンシップに関わる企業情報、マッチングフェアの日程の案内など、特徴的な数多くの取り組みについての情報が提供された。今年度は

6月10日から3日間、約100名の学生が参加して実施された。U・I・Jターン就職希望者は、まず、家族と十分な話し合いをして、地元で就職するかどうかの意思決定を早めに行うことが重要である。さらに、就職支援課

に足を運び、地域の求人情報をつかんでおくことなど、この点に重点を置いて今後の就職と向き合ってください。

日光の自然と文化を満喫 留学生交流ツアー・交流会

本学在籍の外国人留学生を対象とした研修ツアーが6月1日から1泊2日の日程で実施された。日本の歴史や文化への興味喚起を目的とした毎年恒例の行事で、今年度は栃木県の日光方面へ向かった。事前研修として5月21日、学内で徳川幕府や日光東照宮、華厳の滝、奥日光など歴史、文化、自然を学ぶ機会が設けられた。

交流会

6月10日から3日間、約100名の学生が参加して実施された。U・I・Jターン就職希望者は、まず、家族と十分な話し合いをして、地元で就職するかどうかの意思決定を早めに行うことが重要である。さらに、就職支援課

各県担当者が企業情報などを提供

コンテストの参加者を募集中!

第11回3D-CADプロダクトデザインコンテスト

エントリー締切 **8/24** 結果発表表彰式 **10/20**

3次元CADを駆使し、斬新かつ独創的なアイデアをコンピュータ上で表現してください。対象は高校生で、テーマ、自由、SolidWorks (SW)の3部門。SW部門の優秀な作品は立体化加工して展示します。

作品送付先/お問い合わせ先
3D-CAD プロダクトデザインコンテスト事務局 長坂保美
TEL:0480-33-7619 E-mail: nagasaka@nit.ac.jp
<https://2c-laboratory.sakura.ne.jp/pdcontest/>

第13回 マイクロロボコン高校生大会

申込締切 **10/31** 開催日 **12/21**

約1インチサイズの小型ロボットによるライトレース競技です。初心者でも参加しやすいようネームカード(名刺)部門も設置。夏休み期間中に学内外で講習会を実施します。

エントリー/お問い合わせ先
先進工学部ロボティクス学科 秋元俊成
TEL:0480-33-7716(学科事務室) E-mail: akimoto@nit.ac.jp
<http://ise.nit.ac.jp/mrc.html>(エントリーはHPから)

第33回 建築設計競技

提出期限 **8/31** 入賞発表 **9月中旬**

建築を学ぶ高校生を対象とした建築設計の腕試しの場として、また本学建築学科の設計教育活動の一環として、毎年開催しています。今回の課題は「ひかりの建築に住む」です。

作品送付先/お問い合わせ先
建築設計競技委員会
TEL:0480-33-7681 E-mail: kenchiku-compe@nit.ac.jp
<http://nit-kenchiku.jp/activities/>

日本工業大学大学院 社会人特別選抜

◆大学院工学研究科(博士前期課程・博士後期課程)

■2020年度 入試日程

	日程			
	出願期間	面接試験	合格発表	手続締切
一次募集	2019年9月21日~9月26日	10月3日	10月12日	2020年1月24日
二次募集	2020年2月12日~2月19日	2月26日	3月5日	2020年3月10日

お問い合わせ先: 教務部教務課 大学院入試係
TEL 0480-33-7507 URL <http://www.nit.ac.jp>

自動車技術会の最高位資格 フェローエンジニアに認定



機械工学科の中野道王教授が、公益社団法人自動車技術会第13回自動車エンジニアレベル認定においてJSAEフェローエンジニアに認定された。

自動車技術者として自動車技術に関する広範な総合的知識を有する、あるいは極めて高度な専門知識と経験を有し自動車技術者から目標とされる技術者。加えて、後進に対して指導的な活躍が期待でき、高い見識と倫理観を有している者とされている。

中野教授は「これから2019年春季大会において贈呈式が行われた。フェローエンジニアは本認定制度における最高位の資格であり、延べ約4万9000名の会員の中で、認定者はわずか98名である。その認定者像は、わが国を代表する自

地域連携型カリキュラムが 情報系教育コンテスト優秀賞

情報メディア工学科が2005年以降継続して取り組む研究テーマ「大学の工学教育における地域連携型社会実装PBLのカリキュラムデザイン」が、情報処理学会情報処理教育委員会などが主催する第11回情報システム教育コンテストにおいて優秀賞を受賞した。



プレゼンテーションを行う大橋准教授

フォーミュラチームの車両が 自動車関連技術の総合イベントにて展示



今年の学生フォーミュラ大会に参戦した車両を展示

5月22日から3日間にわたるパシフィコ横浜で開催された「人とくるまのテクノロジー展2019

9横浜」において、本学フォーミュラチームの車両が展示された。本展示会では自動車関連企業や計測機器メーカーによる製品展示をはじめ、フォーミュラや新車開発講演、新車試乗会、完成車展示など、自動車技術に関する様々なイベントが催された。

地域別教育懇談会開催日程

開催日	主催	開催会場	対象地域
9/7(土)	岩手県	花巻市/花巻市交流会館	岩手県
〃	山梨県	笛吹市/ホテル春日居	山梨県
9/8(日)	本部(北海道)	札幌市	北海道
〃	本部(四国)	高知市	四国
〃	本部(九州)	福岡市	九州
〃	本部(東海)	名古屋市	愛知県・岐阜県・三重県
9/14(土)	青森県	青森市/ラ・プラス青い森	青森県
〃	福島県	郡山市/清稜山倶楽部	福島県
〃	茨城県	筑西市/ダイヤモンドホール	茨城県
〃	北陸	富山市/富山電気ビルディング	富山県・石川県・福井県
9/15(日)	栃木県	宇都宮市/ホテル丸治	栃木県
〃	近畿	尼崎市/ホテルヴィスキオ尼崎	大阪府・兵庫県・京都府 奈良県・和歌山県・滋賀県
9/21(土)	蔵王	山形市/悠湯の郷 ゆさ	山形県・宮城県
〃	新潟県	長岡市/長岡グランドホテル	新潟県
〃	長野県	長野市/ホテル信濃路	長野県
〃	群馬県	高崎市/グランビュー高崎	群馬県
9/22(日)	秋田県	秋田市/秋田温泉さとみ	秋田県
〃	静岡県	静岡市/男女共同参画センターあざれあ	静岡県
9/28(土)	千葉県	千葉市/バーディーホテル千葉	千葉県
〃	沖縄県	那覇市/パレットくもじ会議室	沖縄県
10/6(日)	本部(近県)	大学	東京都・埼玉県・神奈川県
10/19(土)	西中国 東中国	岡山市/サンビーチOKAYAMA	広島県・山口県・島根県 岡山県・鳥取県

※日程および会場は変更になる場合があります。詳細はご自宅に送付される案内をご覧ください。

工友会定時総会 土井会長が再任。予算案を承認

6月22日に一般社団法人日本工業大学工友会定時総会が多目的講義棟にて開催された。

議事は、2018年度事業・収支報告、2019年度事業計画案・収支予算案、理事および監事選任について審議され、全ての議案が承認された。

宮代会総会

2019年度宮代会総会開催報告

7月7日午後3時より、岩手県ホテル森の風で開催された全国から30名の会員が集まった。また特別会員として、後援会長及び副会長、柳澤理事、成田学長も出席した。2018年度事業報告・決算報告・監査報告、2019年度事業

NIETクリエイイト株主総会 原社長が再任。取締役6名重任

NIETクリエイイトの第52期定時株主総会が5月25日に開催された。

原社長は「4月より本格的にスタートした新売店も順調に稼働しております。新元号を迎え、心新たにこの1年を社員一同精一杯頑張っていく」と決意表明があり、株主総会を終了した。

国外出張

- ◆那須秀行教授(建築学) / 出張先(スウェーデン) (6/15~6/21)
- ◆目的(国際会議) 木材力学学会での研究発表
- ◆竹本敏助教授(電気電子工学) / 出張先(香港) (7/25~7/6)
- ◆目的(2019年国際電気工学会議ICEE)での研究発表
- ◆生駒哲一教授(電気電子工学) / 出張先(カナダ) (7/27~7/7)
- ◆目的(第22回情報融合に関する国際会議 Fusion 2019)にて研究発表
- ◆石原次郎教授(情報メディア工学) / 出張先(イギリス) (7/27~7/9)
- ◆目的(目的 The Other Art Fair London 2019) 出展
- ◆黒津高行教授(建築学) / 出張先(スウェーデン) (6/15~6/21)
- ◆目的(国際会議) 木材力学学会での研究発表
- ◆梅谷篤史准教授(共通教育学) / 出張先(イギリス) (7/30~8/3)
- ◆目的(第27回国際核物理会議)にて研究発表
- ◆シンバフレデリック(電気電子工学) / 出張先(カナダ) (8/8~8/30)
- ◆目的(カナダ語学研修「実践異文化理解」の引率および学生指導)
- ◆井上直(教務課) 同前
- ◆丸山友希夫准教授(情報メディア工学) / 出張先(アメリカ) (8/10~8/16)
- ◆目的(第25回世界プロダクションリ
- ◆飯塚完司教授(応用化学) / 出張先(スペイン) (9/6~9/14)
- ◆目的(第30回ダイヤモンド・炭素材料国際会議)での研究発表

町民まつり〜伝えたい夏がある〜

8月17日・18日の2日間、進修館周辺で第36回宮代町民まつりが開催されます。

宮代の暑い夏を一緒に盛り上げましょう！詳細は、8月から配布するパンフレットをご覧ください。

編集後記

「二方的な選択を過去から現在、そして未来へ持続していく」とする一貫性が、その人間の人格というところになる。これは作家大江健三郎の「記憶と創造力」と題する講演会での発言だ。彼はノーベル文学賞を受賞、「飼育」で芥川賞を受賞するなど我が国を代表する作家として著名だ。政治と性を主題にした作品を数多く発表していることで知られている。人は自らの決断によって生き方を選択する。その「二方的な選択」を生き続けている間は一貫して持続させる努力、生き様こそが、すなわち、その人の人格なのだ。前述の発言は解釈できるだろう。一貫して人生を生き抜くという決意、ためまぬ前進、自分との葛藤、他者との争闘等が個人の人格を形づくる大切な要因であるとも読み取れるはずだ。まさに大江健三郎流の「継続 持続の勧め」でもある。この機会に自問自答してみたい。【信】